

## 栃木労働局長と宇都宮労働基準監督署長が、合同で建設 工事現場の安全パトロールを実施しました。

(平成 28 年 12 月 1 日)

### 完成予想図



年末年始の労働災害防止活動の一環として、平成 28 年 12 月 1 日（木）、栃木労働局長（白兼俊貴）と宇都宮労働基準監督署長（澁谷健一）は合同で、建設工事現場の安全パトロールを実施しました。

訪問したのは、宇都宮中心部で施工中の地上 31 階、地下 1 階建ての建築工事現場（宇都宮大手地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事、東武・渡辺・中村・増渕 JV 施工）で、完成後の建物の高さは 108 メートルに達し、県内では最も高い高層ビルとなる予定とのことです。

現場事務所において、白兼局長からあいさつ、及び事業者の手塚現場所長から、当日の現場の作業状況や、労働災害防止の取組みなどについての説明のあと作業現場のパトロールに移りました。



挨拶をする白兼局長



工事概要等を説明する手塚所長

現場では、作業員約 50 名で鉄筋工事等の作業中でしたが、現場内は整理整頓が行き届き、また、手すりの設置など墜落災害防止の措置も確実に行われていることが確認できました。



現場で説明を受ける白兼局長



当日の作業現場の状況

パトロール終了後、渋谷署長が講評を行いました。講評では、現場における安全管理はおおむね適切に行われていたが、作業員全員で取り組んでいるリスク評価を取入れた KY 活動に関し、リスクの見積もりのばらつきなどについて指摘し、改善をお願いしました。



講評する渋谷宇都宮署長